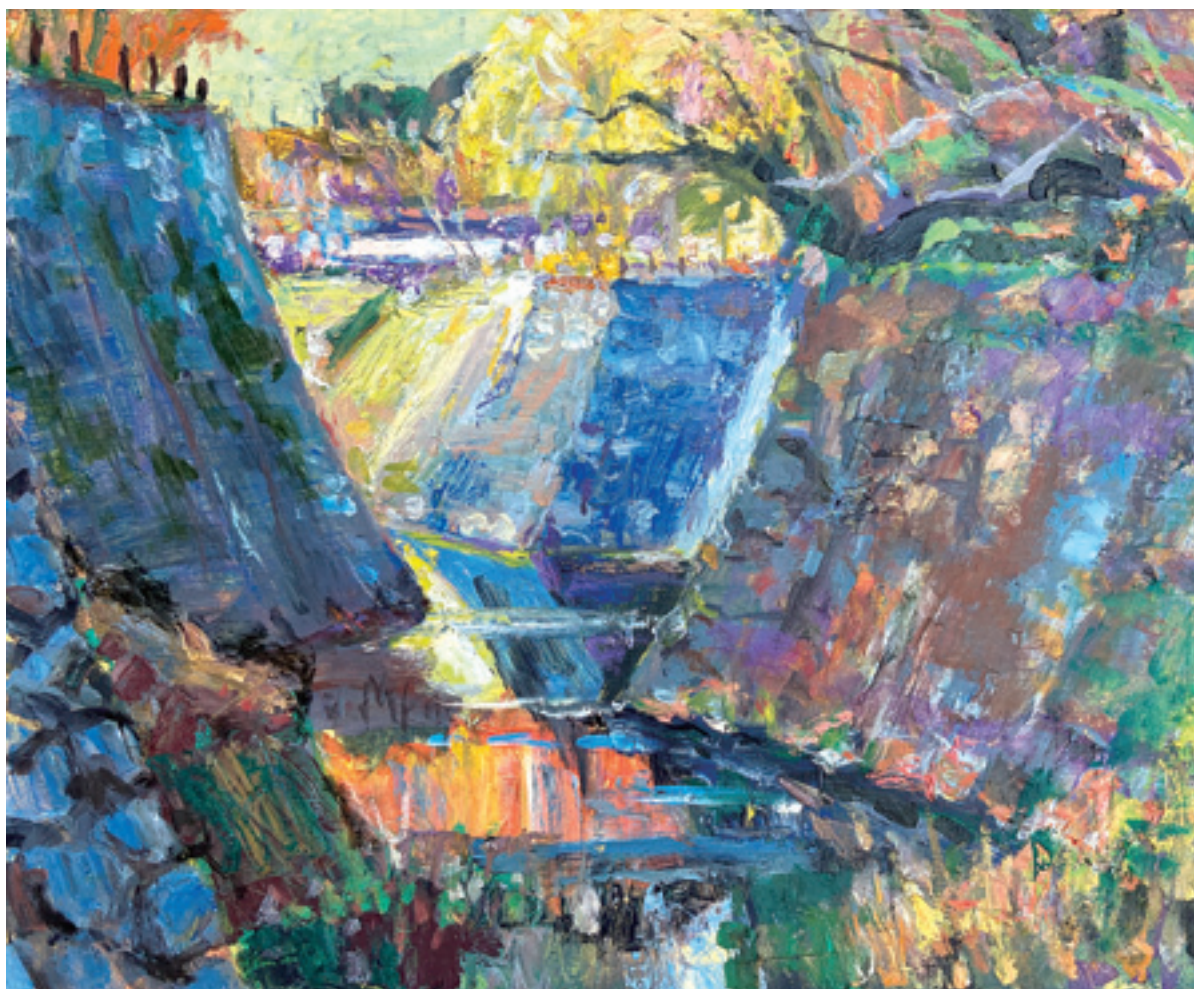




一般社団法人 奈良教育大学同窓会竹柏会会報

まほろば

第 3 3 号



目次

○会長挨拶	2
○学長挨拶	3
○令和元年度会務報告・決算報告No.1	4
○令和元年度決算報告No.2・No.3	5
○奈良教育大学同窓会竹柏会会則	6・7
○令和2年度活動方針・役員紹介	8
○研修会だより	9
○前会長森康雄氏を偲ぶ	10
○支会だより	10
○同窓会だより	11
○学生会員の声・キャンパスだより	
事務局だより・編集後記	12

「城跡夕照」

廣吉 壽史 (S55卒、H3院修)

晩秋の夕暮れ。大和郡山城跡に取材した作品です。

近年、天守台の展望施設が設置され、引き続き番屋の改修や極楽橋の再建が計画されるなど、市民の憩いの場としても整備が進められています。

私が中学校から高校に勤務を転じた20歳代後半に、授業や部活動において生徒たちと一緒にスケッチした思い出深い場所でもあります。

四季の移り変わりや日々の陽ざしにより、多彩な表情と趣を浮かべる城跡に今もなお心惹かれ制作を続けています。

新しい^な竹^ぎ柏会に寄せて

会長 中 川 克 巳



一般社団法人奈良教育大学同窓会竹柏会と名称変更して2年目を迎え、大学と同窓会の関係は親密になり、学生を中心にそれぞれの立場で連携して充実発展への気運が高まってまいりました。ひとえに会員各位のご理解あるご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

この時にあたり、今日までの同窓会活動を振り返りますと、会員減少が続き、存続の危機に直面した時もありました。平成26年度に困難の中で勇気を持って会長を引き受け改革に取り組まれたのが前々会長の中谷 要氏でありました。真面目で慎重そして誠意を持って事に当たられる実務家タイプの人でした。会員の増強をはじめ、支会の活性化、事業内容の精選、会員の研修、研鑽等に力を注がれ大きな成果を修められました。敬意を表したいと思います。

平成28年度に森 康雄前会長が就任され、前々会長の思いを踏襲しながら、さらなる改革に取り組みました。卓越した想像力と、熱意を持って、先見性に富んだ積極的な行動力で想いを形にして実現されました。植樹をはじめ、一般社団法人設立を実現されました。また会員増強とあわせ、130周年記念を見据えた組織の見直しも図られました。

本格的に記念事業推進の気運が高まり、始動の矢先に心労が重なり体調を崩され治療につとめられましたが悪化の一途をたどり、令和2年2月23日に志半ばにして急逝されました。惜しみても余りある偉大な人だけに同窓会にとっては大きな損失を感じます。心からの哀悼の意を捧げたいと思います。

新しい年度への準備に追われる中、誰もが経験したことのないコロナウイルスが世界中に拡大し、緊急事態宣言が発令されました。収束が見通せないことから全ての会合が中止となり、「3密」の回避に万全を期すことになりました。本会においても総会議決は議決権を有する正会員に書面評決をお願いした次第です。よって私が代表理事として会長を務めることになりますが前任者と比べれば力量不足を感じます。幸い優れた理事をはじめ正会員に恵まれ、申し分ない体制のもと力添えを賜りながらこの重責を果たしたいと考えております。ご協力のほど願

います。

法人化されて2年目、組織としても理事を始め正会員のメンバーも整いつつあります。これからは大学と連携し、強い絆で結ばれた魅力ある同窓会を標榜し、あり方や今なすべきことを精査して活動していきたいと思っています。大学の名声を高めるには教師を目指す学生諸君の資質にもよりますが、導き育てる大学の教育力によることは勿論です。一方同窓会の存在が大きく影響することも忘れてはなりません。卒業生が社会人となり、教師としての活躍や社会貢献の姿にまた多くの功績に先輩を慕い大学に憧れる学生が必ず存在します。私たちは先輩として範を示し、学生諸君の道標になることを願いたいものです。同窓会の運営に関わる役員の活躍ぶりや事業内容にも魅力がなければなりません。厚意を寄せ協力してもらえよう努力したいと思います。一般社団法人の新しい門出に会員各位におかれましても、同窓会に思いを寄せ心新たに積極的に参画下さることをお願いします。全国に散在する会員の把握については苦労を重ね事務局によってほぼ確認できたことは大きな喜びであり、今後の活動の前進に大きく寄与するものと考えています。会員増強についても大学の協力により入学時より学生会員として同窓会に加わってくれています。嬉しいことであり感謝しています。

創設130周年の事業の成功に向けて大学をはじめ関係機関と連携し信頼を得ながら邁進しなければと考えています。また苦労の多い学生諸君を支援し頼られ心のよりどころとなる貴重な存在でありたいとも考えています。

先般、クラブハウス建設趣意書を配送し協力をお願いしました。早速にご協力頂き励ましと勇気ももらいました。感謝しております。時節柄と相まって運悪くコロナウイルスの感染拡大で世界中が恐怖にある中、思うように進まないのが現状です。重ね重ねの協力をお願いします。ご容赦ください。

我が同窓会には優れた人材が豊富です。世代交代の時期でもあります。私の在任中は契機の期間としてこの重責を果たして参りたいと思っています。会員の貴重な意見をお待ちしています。また活躍ぶりもお知らせください。会報「まほろば」で紹介し、共に喜び合いたいと考えています。

終わりにりましたが会員各位の益々のご健康とご活躍を心より祈願し、挨拶といたします。

より良い教育活動への充実を

学長 加藤 久雄



同窓会の皆さまには、本学の教育活動や研究活動に対して様々なご支援をいただいておりますこと、お礼申しあげます。

また、奈良教育大学未来を育む基金「新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急学生支援金」にご賛同いただき、多大なご支援をいただきましたこと、お礼申しあげます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大は、地球全体をパンデミックの渦の中に引き込み、私たちの日常生活を大きく変えました。マスクが手放せない生活、人と距離をとる生活、大勢での会食を控える生活、不要不急の外出は控える生活。その中で、私たちは、物事の優先順位を改めて考えさせられることになりました。まさに、コロナと人類との戦いが始まったわけですが、しばらくは続きそうです。

しかし、決して私たちはコロナに負けるわけにはいきません。まずは、何よりも、この未知のウイルスに対する科学研究を進めなければなりません。ワクチンや治療薬の開発も必須です。また、それぞれの場面でどのように三密を回避するか、どのように助け合うかを考え、実行していかなければなりません。そこでは、エビデンスに基づいた分析と論理的な思考が要求されます。また、科学的根拠と方向性のある状況判断に基づく回答を見出していかなければなりません。人類の総力をあげての戦いです。

このような時に必要とされる「力」は、人類が生得的に有しているものではありません。生得的な能力に加え、自らの学びの中で「教育」によって育まれた「力」であります。科学を支える「教育」、科学の成果を正確に伝え・受け取る術のための「教育」、そして物事の優先順位を社会全体を視野に入れて考える力を育む「教育」など、人類とコロナの戦いは、まさに「教育」とコロナの戦いに思えてなりません。コロナのウイルスが猛威を振るうためには、感染者となる人の体を借りなければなりません。ウイルスは人なしでは生きていけません。ウイルスに力を貸さない人となるための「教育」が、今まさに問われていると考えます。

「教育」を探究し、そのより良き実践を目指す若人、「教育」の力で持続可能な社会を築きあげていく若人の学びの場である本学は、今こそその使命を果たして行かなければならないと考えております。同窓会と大学がこれからも手を取り合って、同窓会と本学の発展につなげていきたいと考えております。



令和元年度 会 務 報 告

4月3日	大学入学式 会長・副会長式典に参列 入学生 326名 (学部生 272名・ 大学院生 54名)	6月20日	第3回広報委員会	11月10日	大阪市興東会退職校長会
4月5日	会計監査を受ける	6月22日	第4回広報委員会	11月13日	第1回正会員連絡協議会 23名
4月10日	第1回本部役員会	6月22日	参与会 12名		第8回本部役員会
4月17日	研修委員会		支会長会 10名	11月16日	第4回まほろば徳・得講座
4月20日	大阪市興東会	6月30日	まほろば第32号発行	11月28日	三重支会
4月22日	第1回理事・評議員会 46名出席 総会に提案する議案を討議 検討	7月3日	第3回まほろば徳・得講座	11月30日	大阪市興東会
5月7日	第2回本部役員	7月18日	第4回本部役員会	12月15日	奈良支会
5月15日	第1回まほろば徳・得講座	8月4日	第5回本部役員会	12月20日	磯城支会
5月19日	令和元年度総会 奈良ホテル 75名	8月17日	檀原支会	12月22日	第9回本部役員会
5月27日	第1回広報委員会	8月18日	京都支会		法人化記念教育のつどい 55名
6月6日	第2回広報委員会	8月19日	会計担当者会議	1月15日	ホテル日航奈良
6月7日	第3回本部役員会	8月31日	130周年記念事業実行委員会 準備会 27名	1月18日	第10回本部役員会
6月12日	第2回まほろば徳・得講座	9月17日	第6回本部役員会	2月8日	東大阪支会
		9月30日	中間卒業式 卒業生 4名		130周年記念事業会議 59名
		10月5日	130周年 第1回実行委員会		第11回本部役員会
			第7回本部役員会	3月4日	臨時本部役員会
		10月19日	第2回理事・評議員会 37名	3月13日	第12回本部役員会
		11月2日	一日親睦研修会 福井県若狭小浜方面 32名	3月25日	大学卒業式 第3回法人理事会

令和元年度 奈良教育大学 同窓会 一般会計 決算報告 No.1
(平成31年4月1日～令和元年6月30日)

(歳入の部)

単位：円

款	項	本年度予算額(A)	6月30日現在(B)	比較増減額(A-B)	備 考
会 費		5,744,000	3,255,920	2,488,080	
	1 通常会費	2,400,000	121,920	2,278,080	会員 61名
	卒業時	100,000	0	100,000	
	入学時	2,392,000	2,392,000	0	学生・院生 入学時 326名
	2 入会金	100,000	0	100,000	
	入学時	652,000	652,000	0	学生・院生 入学時 326名
	3 臨時会費	100,000	90,000	10,000	総会出席者 43名
繰 越 金	前年度繰越金	190,867	190,867	0	前年度繰越金
利 子	利子及び雑収入	50,000	29,451	20,549	総会祝儀、広告収入、新聞返金等
合 計		5,984,867	3,476,238	2,508,629	

(歳出の部)

単位：円

款	項	本年度予算額(A)	6月30日現在(B)	比較増減額(A-B)	備 考
事 務 費		1,860,000	569,751	1,290,249	
	1 役員旅費	700,000	225,800	474,200	理事、評議員会、本部役員等旅費
	2 備品等	220,000	196,984	23,016	事務室ラック、パソコン
	3 消耗品費	70,000	12,447	57,553	印刷用紙
	4 通信費	120,000	33,369	86,631	切手・はがき・電話料金等
	5 賃借料	250,000	53,731	196,269	コピー機リース料、コピー代
	6 法人化費用	500,000	47,420	452,580	社団法人設立のための諸費用
会 議 費		150,000	18,637	131,363	
	1 役員会費	50,000	9,741	40,259	理事会・評議員会・支会長会・参与会等
	2 総会費	100,000	8,896	91,104	総会、懇親会等
事 業 費		3,955,000	127,524	3,827,476	
	1 会報発行費	2,400,000	3,024	2,396,976	会報「まほろば32号」
	2 新会員歓迎費	100,000	0	100,000	
	3 事業活動費①	260,000	0	260,000	
	事業活動費②	120,000	74,900	45,100	まほろば徳・得講座
	4 組織活動費	125,000	14,600	110,400	支会活性化対策費、還元金
	5 事業補助	50,000	0	50,000	
	6 記念事業	900,000	35,000	865,000	130周年記念事業関連
	7 事業基金	0	0	0	
予 備 費	予備費	19,867	0	19,867	
合 計		5,984,867	715,912	5,268,955	

差引現在高 3,476,238－715,912＝2,760,326円 ※2,760,326円は竹柏会に繰り越します。

事業基金現在高 (令和元年6月30日現在)

南都銀行 (定期)	564,540円	ゆうちょ (定額)	308,000円
南都銀行 (普通)	500,029円	ゆうちょ (普通)	443,872円
		ゆうちょ (普通)	2549,330円
合 計			4,365,771円

令和元年度 一般社団法人奈良教育大学 同窓会竹柏会 一般会計 決算報告 No.2
(令和元年7月1日～令和2年3月31日)

(歳入の部)

単位:円

款	項	本年度予算額(A)	6月30日現在(B)	比較増減額(A-B)	備 考
会 費		2,488,080	2,265,121	222,959	
	1 通常会費	2,278,080	2,255,121	22,959	会員 1,125名
	卒業時	100,000	2,000	98,000	学生・院生 卒業時 1名
	入学時	0	0	0	
	2 入会金	100,000	8,000	92,000	学生・院生 卒業時 4名
	入学時	0	0	0	
	3 臨時会費	10,000	0	10,000	
繰 越 金	前年度より繰り越し	0	0	0	
利 子	利子及び雑収入	20,549	47,022	△26,473	広告収入、総会残金
合 計		2,508,629	2,312,143	196,486	

(歳出の部)

単位:円

款	項	本年度予算額(A)	6月30日現在(B)	比較増減額(A-B)	備 考
事 務 費		1,290,249	1,265,202	25,047	
	1 役員旅費	474,200	499,180	△24,980	理事、評議員会、本部役員等旅費
	2 備品等	23,016	81,400	△58,384	事務室金庫
	3 消耗品費	57,553	30,435	27,118	印刷用紙、名刺他
	4 通信費	86,631	89,404	△2,773	切手・はがき・電話料金等
	5 賃借料	196,269	104,522	91,747	コピー機リース料、コピー代
	6 法人化費用	452,580	460,261	△7,681	社団法人手続き費用
会 議 費		131,363	91,469	39,894	
	1 役員会費	40,259	17,786	22,473	理事会・評議員会・正会員・参与会等
	2 総会費	91,104	73,683	17,421	教育を語る会等
事 業 費		3,827,476	3,396,821	430,655	
	1 会報発行費	2,396,976	2,222,255	174,721	会報「まほろば32号」作成
	2 新会員歓迎費	100,000	27,070	72,930	卒業記念品等
	3 事業活動費①	260,000	230,914	29,086	親睦研修会
	事業活動費②	45,100	40,000	5,100	まほろば徳・得講座
	4 組織活動費	110,400	50,000	60,400	支会活性化対策費、還元金
	5 事業補助	50,000	0	50,000	活動補助
	6 記念事業	865,000	826,582	38,418	趣意書印刷、送付料金不足補填等
	7 事業基金	0	0	0	
予 備 費	予備費	19,867	30,322	△10,455	前会長告別式花輪
合 計		5,268,955	4,783,814	485,141	

差引現在高 (No.1の繰り越し+No.2の収入) - No.2の支出

(2,760,326+2,312,143) - 4,783,814 = 288,655円 ※288,655円は来年に繰り越します。

事業基金現在高 (令和2年4月3日現在)

南都銀行 (定期)	226,218円
南都銀行 (普通)	838,365円
ゆうちょ (定期)	308,000円
ゆうちょ (普通)	443,875円
合 計	1,816,458円

名簿整備及びクラブハウス趣意書送付関係

基本基金解約	
ゆうちょ (普通)	2,549,352円
支 出	
1 会員名簿管理システム整備費	1,210,880円
2 クラブハウス建設趣意書送付	1,539,604円
合 計	2,750,484円

事業基金解約一支出=不足分
-201,132円は、一般会計の
「記念事業」より支出しました。

令和元年度 一般社団法人 奈良教育大学同窓会 竹柏会 会計報告 No.3

特別会計 130周年記念事業基金 (クラブハウス建設基金) (令和元年7月1日～令和2年3月31日)

(報 告)

単位:円

款	項	収入額 a	支出額(手数料) b	残額 a-b	備 考
130周年記念事業基金 (クラブハウス建設基金)	会員の部				
	1 一般会員	9,880,000			会員 (客員・学院生含) 893件
	2 その他	22,000			趣旨賛同者等 1件
	法人の部				
	1 団体・企業	30,000			企業法人等 1件
	2 その他	10,000			趣旨賛同者等 1件
	計	9,942,000	159,549	9,782,451	手数料を差し引いた実収入額
繰 越 金	前年度繰越金	0	0	0	貯金利子等 (無利子型通帳を含む)
利 子	利 子	0	0	0	
合 計		9,942,000	159,549	9,782,451	

130周年記念事業基金 (クラブハウス建設基金) の残高額は9,782,451円です。 令和2年4月3日

令和元年度の会計については、No.1、No.2、
No.3の通りであることを報告いたします。

令和2年4月6日

令和元年度の会計決算を詳細に監査いたしましたところ、
No.1、No.2、No.3共に諸帳簿等は、よく整備され正確適
正に処理されていることを認めます。

令和2年4月8日

会 計 吉田貴子
会 計 小林邦子
会 計 森本玉不
会 計 四野宮康子

会計監査 野阪雅美
会計監査 倉本政太郎

奈良教育大学同窓会竹柏会 会則

「一般社団法人奈良教育大学同窓会竹柏会」定款に基づき同窓会竹柏会を運営する上で必要な事項を定める。

第1章 名 称

第1条 この法人は、一般社団法人奈良教育大学同窓会竹柏会と称し、事務所を国立大学法人奈良教育大学内に置く。

第2章 目的及び事業

第2条 この法人は、会員相互の親睦を図り、教育及び社会の進展に寄与することを目的とするとともに、この目的を達成するため、次の事業を行う。

(1)会員親睦事業 (2)学事奨励事業 (3)会報の発行 (4)支会活動の支援と充実 (5)学内学生のサークル活動支援 (6)その他この法人の目的を達成するために必要な事業

第3条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第3章 会員及び正会員

第4条 この法人の会員は、次の3種とし、正会員をもって一般社団法人に関する法律上の社員（以下「正会員」という）とする。

- (1)正 会 員 一般会員及び学生会員のうち、第5条に定める会費を納入したもの
- (2)一般会員 国立大学法人奈良教育大学及びその前身校並びにそれに準ずる教育機関の卒業生、修了者及び大学の教員
- (3)学生会員 国立大学法人奈良教育大学学部及び大学院に在学中のもの

第5条 会員は、入会金及び年会費を納入する。

- (1)入会金は2,000円とする。
- (2)正会員は、年会費3,000円とし、1,000円単位で増額納入できる。
- (3)一般会員は、年会費2,000円とし、篤志増額納入ができる。但し、年会費3,000円以上の納入者は、本人の意志により正会員になることができる。（所定の様式による手続き必要）
なお、85歳以上の一般会員は、5か年以上の会費を一括納入することができる。
- (4)学生会員は、次の方法で納入する。
 - ◎学部入学生は、入会金2,000円と4か年分の会費8,000円を入学時に一括納入する。
 - ◎大学院入学生は、入会金2,000円と2か年分の年会費4,000円を入学時に一括納入する。

第4章 正会員総会

第6条 この法人に正会員総会を設置する。正会員総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。

第7条 正会員総会は、次の事項を決議する。

(1)理事の選任及び解任 (2)定款の変更 (3)各事業年度の事業報告、決算の承認及び事業計画及び予算 (4)入会の基準並びに会費等の金額に係る定め (5)正会員の除名

第8条 正会員総会は、理事会の決議に基づき会長が招集し、議長は会長があたる。ただし、会長が出席できないときは理事及び正会員の中から選出する。

第9条 正会員総会は、総正会員の議決権の過半数を有する正会員の出席がなければ開催することができない。又、決議は、出席した正会員の議決権の過半数をもって行う。

第10条 正会員総会に出席できない正会員は、予め通知された事項に書面又は電磁的方法をもって議決権を行使し、又は他の正会員を代理人として議決権の行使を委任することができる。その正会員は出席したものとみなす。

第11条 正会員総会は、理事会と連携し、会の活性化を図りながら事業活動に助言、協力する。

第5章 理事及び監事

第12条 この法人に次の役職を置く。

- (1)理事20名以内（理事のうち1名を代表理事とし、会長に就任する。）
- (2)監事1名以上

第13条 理事及び監事は、正会員総会において承認を得なければならない。

第14条 理事は理事会を構成しこの法人の全ての業務の執行、決定に参画する。

2 会長は、この法人を代表しその業務を執行する。

3 会長は、この法人運営上必要な委員会を設け、委員を委嘱することができる。

第15条 監事は、次に掲げる職務を行う。

- (1)理事の職務執行の状況を監査し、監査報告を作成する。
- (2)この法人の業務及び財産の状況を調査すること、並びに各事業年度に係る計算書類及び事業報告等を監査すること。

第16条 理事の任期は、選任後2年以内とし、再任を妨げない。

2 監事の任期は、選任後4年以内とし、再任を妨げない。

3 後任として選任された理事及び監事の任期は前任者の任期満了までとする。

第17条 理事及び監事は、無報酬とする。

第6章 理事会

第18条 理事会は、次の職務を行う。

(1)正会員総会の日時、場所及び目的である事項の決定 (2)規則の制定、変更及び廃止 (3)前各号に定めるもののほか、この法人の業務執行の決定 (4)理事の職務の執行の監督 (5)代表理事の選任及び解職

第19条 理事会は、会長が招集し、議長は会長があたる。

第7章 委員及び支会・評議員

第20条 委員は、事業活動部会並びに各種委員会活動に協力する。

2 竹柏会以前の奈良教育大学同窓会理事については、理事の名称を解き、奈良教育大学同窓会竹柏会委員とする。

第21条 この法人の各地区に支会を置き、理事との連携を深める。

2 支会は、支会長1名、評議員若干名を選出する。評議員は支会を運営する。

第8章 名誉会長及び顧問と名誉理事

第22条 この法人は、奈良教育大学長を名誉会長に推戴する。

第23条 顧問は、学長経験者、本会の会長経験者から充てる。

第24条 名誉理事は理事経験者から充てる。

第9章 会議

第25条 理事会は、年4回(4月、7月、10月、1月)開催する。

2 理事会は、全ての運営業務を決議し執行を決定する。

第26条 正会員総会は、年2回(4月、10月)開催し、理事会の決議事項の報告を受ける。

第27条 全体総会は、年1回(5月)開催し、正会員総会の決議事項の報告を受ける。

第28条 委員会、支会長会、評議員会は、必要に応じ開催する。

第10章 財産及び会計

第29条 この法人の財産は、基本財産及びその他の財産の2種類とする。

第30条 この法人の事業計画書、収支予算書は、毎事業年度の開始の日の前日までに会長が作成し、理事会の決議を経て、直近の正会員総会に報告する。

第31条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が作成し監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て正会員総会に報告する。

附 則

この会則は、令和2年4月1日から施行する。

2021(令和3)年度 同窓会総会のご案内

■と き 令和3年5月16日(日)
午前10時から

■ところ 奈良ホテル



出席希望者は令和3年4月末までに、事務局へ(FAXか電話で)お申し込みください。

会員から書籍が寄贈されました

2019年7月19日 「巳野欣一著作集」

米田 猛(S51卒):新踏社

2019年7月19日 「『言語文化』の学習指導」

米田 猛(S51卒):溪水社

令和2年度 奈良教育大学同窓会竹柏会 活動方針

はじめに

令和2年度に本会は創設130周年の記念すべき年を迎えます。先輩諸氏が築いてこられたこれまでの活動を引き継ぎながら、新しく学生会員を迎えて4年目となり、まさしく卒業生・学生が一体となった新しい同窓会活動を創造していくことが求められています。

また、奈良教育大学は令和3年10月を目途に奈良女子大学と法人統合し、「国立大学法人奈良」として奈良県、全国、そして世界を牽引する新しい国立大学として生まれ変わろうとしています。

本会は会員相互の親睦をはかり、教育ならびに社会の進展に寄与することを目的とし、大学の運営方針に沿って協力し、共に更なる発展をめざし

ていきます。

基本方針

法人としての組織を確立し、同窓会活動の充実発展をめざし、会の運営を円滑に進める。

重点目標

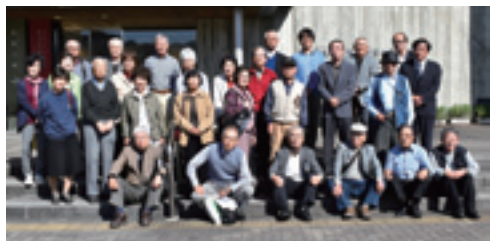
- 1 会の運営・充実のため年会費の増収に努める。
- 2 各事業委員会の強化と、支会活動の活性化をめざす。
- 3 学生会員に向けての活動を拡充する。
- 4 同窓会創設30周年記念事業「クラブハウス建設基金」を成功させる。

令和2年度 奈良教育大学同窓会竹柏会 役員紹介(敬称略)

名誉会長	加藤 久雄	参 与	宮前 清和	支 会 長	奈 良	宮久保忠典	評 議 員	磯 城 郡	前川 美幸
顧問	長友 恒人		大倉 基宥		天 理	東内 弘			松村 宙亨
	柳澤 保徳		森杉 美代子		大和郡山	中谷 要		宇 陀	松岡 清之
	長田 光男		本田 克己		山 辺	上浦 一道			向井 清
	西田 史朗		福井 義博		生駒市	松村 恵司		檀 原	田中 三彦
	中谷 要		竹中 良行		生駒郡	宮前 清和			原田須加子
代表理事	中川 克巳		宮本 博覬		桜 井	向出 恵宥		高 市 郡	中島 浩一
	吉田 貴子		今西 政弘		磯城郡	堀内 義雄			上西 義次
	橋本 清		宿本 啓		宇 陀	田中 三彦		大和高田	上西久美子
	松原 さおり		中尾 勝一		檀 原	山本 秀樹			辰巳 恵子
	向出 恵宥		藤井 フミ子		高 市 郡	上西 義次			福仲 慎司
理 事	久保 三左男		松本 守正		大和高田	辰巳 恵子		北葛城郡	森岡 義博
	中村 利典		境山 正甫		北葛城郡	増田 辰夫			増田 辰夫
	小谷 勝彦		木村 隆吉		香 芝 市	荻原 雄一		香 芝	荻原 雄一
	井村 崇暢		後藤田 和子		葛 城 市			葛 城	宅 康次
	楠 隆彦		井本 英典		御所市	野阪 雅美		御 所	野阪 雅美
	中室 清文		浦野 和		五 條 市	梶本 和雄			梶本 和雄
	香川 一実		門田 悦子		内 吉 野	久保 隆		五 條	尾崎 和弘
	小林 邦子		岡島 久子		吉 野	小原 康子			蓮尾 雅人
	森本 玉枝		赤堀 剛彦		高 校	井上 恵充		内 吉 野	久保 隆
	吉田 誠		大橋 勉		大 学	吉田 誠			小原 康子
監 事	近藤 義之	竹柏会委員	深井 一憲	評 議 員	大阪市興東会	今井 美之		吉 野	森嶋 敏彦
	四野宮 康子		石増 次郎		東 大 阪	金治 延幸		高 校	井上 恵充
	中村 倫子		岸田 泰三		八 尾	浦上 弘明			石澤 竜義
	野阪 雅美		平井 利子		京 都	久保三左男		大 学	金原 正明
	井上 三夫		中村 幸成		名 張	渕矢 俊成		大 阪	船留 昌代
	松村 恵司		澤田 晴夫		奈 良	西田美智子			石川 昌司
	北 良夫		恒岡 宗司			阪東 俊行		東 大 阪	松川登志子
	岩橋 恭子		大橋 輝雄			神谷 佳宏			金治 延幸
	武村 恵美				奈良東部	高塚 佳紀			植田 勝
	金治 延幸					谷嶋美智子		八 尾	加藤 賢一
竹柏会委員	向出 佳司				天 理	阪部 保		京 都	井戸野仁司
	山田 昇				郡 山	喜多 健一			濱 喜代巳
	滝川 満夫					三村 精一		三 重	廣瀬 裕司
	銭本 三千宏				山 辺	熨斗 慎司			布村 進
	中澤 新治					今本 泰啓			
	豊田 弘司				生駒市	上西 均			
	松田 孝史					出原威佐夫			
	深田 展巧				生駒郡	稲浦 聡			
	西岡 由郎					岡田 泰治			
	林田 晃典				桜 井	脇田 正美			
	山崎 淳美					北川 雅尚			
	枝元 哲								

一日親睦研修会 (令和元年11月2日)

同窓会員32名が事前に学生会員の意向も聞き取り、「縄文文化」と「食文化」をキーワードに、若狭・小浜方面に観光バスで出かけました。



一日親睦研修会に参加して

山崎 拓也(大学院)

参加させていただいた一日親睦研修会では、学生会員が私一人だけということで、かなり緊張しました。私自身博物館に行くのは小学生以来だったので、実際の展示物を見てインターネットや本の資料等だけでは学べないものであると思いました。

「御食国若狭おばま食文化館」では、小浜市が取り組んでいる「食のまちづくり」や食育について学ぶことができました。食べることが大好きな私にとって、日本の食文化の歴史やそれに伴う交通路の発達などの展示物が非常に興味深く、とても勉強になりました。

「若狭三方縄文博物館」では、縄文時代の土器や船等、当時使われていた様々な展示物を見て、実際に見たからこそ語れることも多くあると思いました。

移動中のバスの車内や昼食時に諸先輩方と話すことができました。どの話も私にとって非常にためになるもので、研修会に参加して良かったと思いました。

まほろば徳得講座を受講して

山崎 拓也(大学院)

昨年度4講座とも受講して思ったのは、まさに徳得な講座であったということである。今年はコロナウイルス感染症の影響で講座がなくなってしまったのは、非常に残念である。

私が受講しようと思ったのは、大学院での授業だけでなく、この講座を受講することで、教員としての力がより高まると思ったからである。各講座ともそれぞれの教科・校種に応用できる内容や、教員として知っておくべきことなど、充実した内容であった。それぞれの担当講師の方もとても分かりやすく教えてくださった。

第1講では、明日香村での教育の事例から、学力の基礎である「聞く」「話す」「読む」「書く」と学習規律の重要性について再認識することができた。第2講では、教科化された道徳の授業について、現場の先生の実践から、授業の構成や評価の仕方について詳しく学べた。第3講では、「教員の仕事は教えるだけでなく、子ども達という『先生』からも多くのことを学べる職業である」ということを学んだ。第4講では、「主体的・対話的で深い学び」「問題解決型の授業」等の意味、中身、そして関連性について詳しく学ぶことができた。

受講して一つもったいないと思ったのは、受講人数が少ないということである。全講座受講した私から言わせてもらおうと、損をしているといっても過言ではない。言葉だけでは伝わらない部分が多々あるので、ぜひ受講することをお勧めする。

令和2年度の研修について

新型コロナウイルスの感染拡大により、今年度下記のように予定していました「まほろば徳得講座」を中止せざるを得なくなりました。また、「公開文化講演会」も中止とさせていただきます。

奈良教育大学 学部生・大学院生のみなさまへ
教員をめざす特設講座 同窓会(竹駒会)本部

まほろば 徳・得講座

※本学を卒業した方、元教員の方、教員を目指す方にぜひ参加していただき、教員としての力を高めたいと考えています。
※今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となります。
※教員をめざす方にとっても、大変貴重な機会です。
※本学の授業とは一線を画す、本学とは異なる視点です。

※開講：10:30～15:30
※会場：山崎ホール
※参加費：無料
※要予約・要申込

特設 教師は授業で勝負する

第1講 4月15日(水) 道徳が特別な教科になって何が変わったの？ ～道徳授業は今？～ 講師：山崎 拓也(大学院生)	第2講 5月13日(水) 受けたくなる授業づくりのノウハウ(その1) ～アクティブラーニングもふまえた道徳授業～ 講師：山崎 拓也(大学院生)
第3講 6月10日(水) 受けたくなる授業づくりのノウハウ(その2) ～ゲームを取り入れた面白い道徳授業～ 講師：山崎 拓也(大学院生)	第4講 7月29日(水) 人権教育は大切と云いながらそんな時間割にないやん？ ～どこで何をどうするの？～ 講師：山崎 拓也(大学院生)

「まほろば徳得講座」申込書

奈良教育大学 学 部 _____ 院 生 _____
 大学院 _____ 院 生 _____
 学生番号 _____ 氏 名 _____

受講希望講座を○で囲んでください。(第1講・第2講・第3講・第4講)
 ※申込期間：(学生会館1階301号) 8月15日(金)～8月20日(水) 9時～17時
 ※申込先：(学生会館1階301号) 8月15日(金)～8月20日(水) 9時～17時

大学との連携強化に注いだ情熱…前会長を偲んで

理事 橋本 清



故 森康雄前会長

令和2年2月23日、一般社団法人奈良教育大学同窓会竹柏会会長森康雄氏の訃報が知らされました。4年間、同窓会会長として、精力的に事業推進に尽力された一端を振り返り、遺徳を偲びたいと思います。

同窓会の活動が、大学の充実・発展に寄与することを念願し、様々な方策を生み出し実現への努力を惜しみなく発揮されました。

同窓会の法人化への移行は、同窓会事業推進に対する人々の信頼を高める上で大きな一歩となりました。

同窓会が主催した「植樹祭」は大学創立130周年を記念し、桜と橘13本を大学へ寄贈した記念の日になりました。植樹された桜は、今年も見事な花を咲かせました。

「まほろば徳・得講座」は、同窓会の先輩たちが豊かな経験に基づく実践事例を学生に語り、教職への魅力を高めるとともに自覚を促す貴重な機会となっています。

クラブハウスの改築は、大学当局と学生諸氏の積年の願いでした。大学と同窓会が足並をそろえ具体化に向けて踏み出すことになりました。

「着眼大局、着手綿密」の言葉を残し、同窓会の歩みに示唆を与えてくださった前会長のご冥福をお祈りいたします。

奈良支会の現状と活動の活性化について

奈良支会 宮久保 忠典(S58)

前号で元会長の奥村浩一先生(S56)より説明がありましたように、奈良市では現役の中学校長が支会の会長を、小学校長が副会長になり会の運営を進めています。前会長の川本和代先生(S57)より奈良市在住の人でということで、今回奈良支会の会長をさせていただくこととなりました。奈良市は現在高校1校、中学校21校、小学校43校あり平成元年の調べで現役の会員数は462名となっています。

しかし、その活動は名簿の集約と12月最初に行う総会のみであり、その総会も担当役員のみ出席で10数名程度です。今年5月の全体の同窓会総会で、他の支会の先輩方から運営の仕方などご指導いただこうと思っていたのですが、残念ながらそれも中止となってしまいました。

また、現在の学校の状況は、新型コロナウイルス感染症の関係で休校措置が続く、児童生徒が全員参加で活動できるようになったのは6月15日からでした。行事やプールもことごとく中止となり、修学旅行も2学期以降で、

感染の第2波が来たら中止になります。そんな現状の中、マスクをし消毒を毎回行いながら活動を続けています。

当分は多くの人が集うことは難しいかもしれませんが、同じ奈良教育大学の卒業生が、悩みや情報を共有できる場が設定できたらと考えています。現役の奈良市の先生は、パソコンやスマホによるオンライン会議も行っていますので、奈良支会がそういう場を提供していただけたらと考えています。

併せてコロナ終息後は、顔を合わせて昔の懐かしい思い出深い話から、現職の先生方へのアドバイスなどを先輩方からうかがえたら素晴らしい会になることだろうと思います。同じ大学で学んだつながりを大切に、奈良支会が発展していくように努力する所存です。



東大阪支会の更なる発展をめざして

東大阪支会 金治 延幸(S47)

令和2年1月、本部同窓会向出副会長ご臨席のもと、恒例の東大阪支会総会を布施の地で開催しました。

東大阪支会は、「興東会東大阪支部」として、東大阪市内で教職につく同窓会会員諸氏で構成され、先輩方のご尽力と「大阪市興東会」のご支援により、長年に亘り総会・懇親会、研修会等々を開催し、活発に活動を展開してきました。しかしながら、現役会員数の減少と組織率の低迷により、近年では総会・懇親会への参加者も減少の一途をたどる結果となってきました。役員も1年交代のシステムを取っており、毎年会長が交代し、本部との結びつきも強固なものとなっていない状況にありました。

折りしも本部同窓会では、設立130周年の節目を迎えることを機に、盛大な周年行事が企画され、私自身も実行委員としてその取り組みの一翼を担うこととなりました。

実行委員会では、故森会長のあふれる情熱とそれに

応える本部同窓会役員の皆様方の熱意に接し、私も何らかの行動を起こさねば…との意を強くする機会となりました。

そこで、東大阪支会の活性化と本部同窓会との結びつきを一段と深めるべく、この度の支会総会で、役員1年交代の慣例を改めるとともに、本部同窓会の意向を受け、会長を東大阪市内在住者から選任することとしました。その上で、私自身(東大阪市内在住)が会長職に立候補してその旗振り役を務めるとともに、中堅会員を積極的に役員に登用し、中堅・若手会員のニーズにも応える同窓会へと脱皮していくこととしました。総会に続く懇親会では、和気あいあいとした雰囲気の中で旧交を温めあうとともに、支会活性化に向けての活発な意見交換もなされ、盛会の内に幕を閉じました。

現在、新型コロナウイルス蔓延により、企画した新役員会も一時休止を余儀なくされておりますが、今後、東大阪市内在勤者の名簿の整理を進めるとともに、役員会でさまざまなアイデアを出し合い、東大阪支会の更なる活性化に向け、精力的に活動を展開していきたいと考えています。

昭和39年同窓会は楽しい

奥田 時生 (S39)

第9回・奈良学芸大学39年同窓会を令和元年10月20日、橿原ダイワロイヤルホテルにおいて開催しました。昨年に続いての開催です。毎年開催の2年目です。少し心配していましたが、出席率は昨年とほぼ同様約30%でした。『会員の中には今年は休んで来年参加するつもりです。と考えている方もおられましたが、そうではなく、1年間健康だった証として参加する積極的な気持ちが欲しい。私など、いつ倒れるかわからない。行けるときにやっておこう。そんな気持ちです。』と挨拶の中をお願いしておきました。

幹事代表の乾杯で宴会が始まりました。かなりの盛り上がりの中、各自のスピーチを聞くことになりました。ほとんどの方は持ち時間をオーバーして話されていました。その内容は高齢者らしい病気のこと、薬のこと、看護のこと、独りぼっちで寂しいこと等々でした。様々な生き方、考え方、近況は互いに参考にさせていただく事が多く、楽しく有意義なひと時でした。

その後、幹事の東森文昭さんに学生時代、いまから50年前の思い出の写真をスクリーンに投影していただきました。国鉄奈良駅舎、ディーゼルカー、近鉄奈良駅舎、電車

の座席、東向商店街、奈良公園、ささやきの小径、卒業式の記念写真、等々が現在の写真と比較して楽しいエピソードを添えながら解説していただきました。当時、たばこのピースは70円、きつねうどん150円、初任給12,000円だったそうです。背広は3万円だったので月賦で買うのが普通であったそうです。「せやった、せやった」と思わず拍手して、感動して、またあまりのギャップに笑えてくるほんとうに懐かしく素晴らしい物を見せていただきました。

その後、カラオケが始まりました。どうなるかと心配でした。まず幹事から率先して、『私が歌うと後の方が歌いやすいと言われていました』と前置きして下手な歌を歌いました。すると次々とのど自慢の人がでてきて、演歌、シャンソンから詩吟まで大盛況でした。

年齢も恥ずかしさも忘れて同じ時代に生きた同志の心を一つにした同窓会でした。



奈良学芸大学 昭和39年同窓会 令和元年10月20日 第9回 同窓会

「教育の集い」に参加して

今井 美之 (S57)

令和元年12月22日、奈良教育大学同窓会竹柏会法人化記念として開催された「教育の集い」に参加させていただきました。私にとっては、昭和の時代からいただいている奈良教とのご縁を、改めて有難く感じ入る機会となりました。

たくさんの方の先輩方の若々しいお声を聞かせていただきながら和やかに過ごすひととき。皆様のお元気なお姿と闊達なお話しぶりに、感銘を受けました。宴が進み懇親会半ばでは、学生のギター・マンドリンクラブが奏でる、さわやかで、どこか懐かしい音色。ノスタルジックで美しいメロディを聴くうちに、奈良教のキャンパスで過ごした昭和50年代の懐かしき学生時代に帰ることができました。アンコールでは、思いがけず演奏に合わせて学歌を朗々と歌わせていただき、感無量でした。素敵な時間を演出してくれた学生諸君に感謝。

同窓会森康雄会長から、クラブハウス建設基金のお話を聞かせていただきました。

私も、学生時代に、このクラブハウスにとってもお世話になった一人です。昭和54年度から4年間、器械体操部の一員として、一番多くの時間をこのクラブハウスで過ごしま

した。長屋のようにつながったクラブハウスの狭い一室が、友と語り合う貴重な場であり、先輩後輩と多くの楽しみを共有する場でもありました。

懐かしさの余り、会が終わってから大学まで歩いて、およそ35年ぶりに我が器械体操部の部室を訪れてみました。森会長が言っておられた通り、昭和50年代のままのプレハブ小屋。扉に書かれた「器械体操部」の文字もそのまま。私にとっては郷愁を誘う佇まいではありますが、さすがに、今の学生諸君がこの場所を安全に健康的に活用するには、古くなり過ぎた感がありました。多くの方々の志を得て、この基金の取組がこれからの学生が過ごす環境の改善として実現することを願っております。

そして、何よりも奈良教育大学同窓会竹柏会の活動がさらに活性化し、我が母校がますます発展しますことを心より願っております。



フリースクールの子どもたちとともに

宇陀 直紀 (R2)

今春、大学院修士課程を修了しました。現在は在学中に立ち上げたフリースクール「奈良スコール」で子どもたちと活動しています。

私は、小学校、中学校、高校と学校には数えるほどしか行っていませんでした。大学から行き始め、学部では社会福祉学を学びました。大学院から奈良教育大学で学び、不登校を経験した若者の自立過程についてインタビューをもとに研究を行ってきました。不登校だった自身の経験もあって、学校に行っていない子どもが自分の家以外で居場所と感じられる空間、他の子どもと一緒に学ぶことができる場所を作りたいと思い、フリースクールを立ち上げました。

不登校問題は、これまでは家族や本人の問題とされてきました。私が学校に行っていない間も周囲から「どうして学校に行かないのか」と責められ、学校の先生にも強制的

に学校へ連れて行かれたこともあり、とても辛かった思い出があります。依然として学校以外の居場所の整備が社会の中で進まない現状、学校に行っていない子どもたちは特に、自分を認めてくれる、安心できる場所がない中でしんどい思いをしていることが想像できます。

フリースクールは、子どもたちが自分らしく育っていくことができる場所です。奈良スコールは「こどもがまなぶ・いばしょをつくる・じかんをいきる」を理念として活動しています。週1回開かれるミーティングでは子どもからの活動提案があり、対話によって決められます。他にもiPadを使った学習や食事づくり、畑の活動など、子どもたちの興味、関心のあるものや身近なものからイベントの企画など、将来につながる学びを「子ども発信」で行っています。

これからの社会を担う子どもたちが、自分の気持ちを大切にしながら他者とつながり、また、自分たちはどのような社会を作っていきたいのかを考えて日々実践していくことが大切だと考えています。子どもたちとともに私も学んでいます。

学生会員からのたより

陸上競技部 阪本絵里香

大学生活3年目となりましたが、コロナウイルスの影響で1、2年生の時とは違った生活を送ることとなりました。そのような大学生活の現状をお伝えさせていただきたいと思います。今は、コロナウイルスの影響により、一部大学で通常通り授業を受けているものもありますが、ほとんどはオンライン授業やオンデマンド型の授業を自宅で受けております。慣れないことなので、はじめは不安や戸惑いもありましたが、今は少し慣れてきてスムーズに授業を受けることができています。クラブ活動は、4月から大学で禁止されており、活動出来ていない状態です。今、できるだけ早く活動が再開出来るように体育会の方々が動いてくださっていますが、まだ許可は降りていません。大会等も延期や中止が重なっているため、目標が無い状態での活動となるクラブがほとんどだと思いますが、早く再開出来ることを祈っている限りです。最近、授業で大学に行っ

た時に久しぶりに部室棟へ行くと、外に置いていた物は鹿や風雨に荒らされ、中は蜘蛛の巣だらけでとてもきれいと言える状態ではありませんでした。鍵がないため、物が無くなっていないかと少し不安にもなりました。もう少し良い部室であればと思ったというのが本音です。今、同窓会でクラブハウス建設に取り組んでくださっているようです。このような状況を踏まえて、学生である私からもクラブハウス建設基金のご協力をお願い申し上げます。

今年の夏休みには教育実習を行わせていただく予定です。教育実習に向けた授業がオンデマンド型で行われたり、例年通りではないことも多々あり、実習先で良い授業を行うことが出来るのか、コロナを意識して児童と適切な関わりができるのかと不安に思うところはございますが、今出来る限りの準備をしていこうと前向きに考え、日々の授業に取り組んでいきたいと思っています。

前期は、ほとんどがオンライン授業で行うと決まっているため、仕方ないですが、後期の授業からは大学で友達と顔を合わせながら楽しく大学生活が送れるようになることを楽しみにしています。

キャンパスだより

入学生はどの府県から？ (R1年度)

(卒業高校所在地で調査)

1 大阪府	89名	8 静岡県	5名
2 奈良県	63名	長野県	5名
3 兵庫県	26名	10 香川県	4名
4 京都府	15名	11 北海道	3名
5 和歌山県	9名	鳥取県	3名
愛知県	9名	福井県	3名
7 島根県	6名	山口県	3名

卒業生の進路は？ (H31年3月卒業終了者)

*資料：2019年大学概要

教員	幼稚園	4名	企業	52名
	小学校	59名	大学院等進学	22名
	中学校	18名	保育士等	7名
	高等学校	8名		
	特別支援学校	7名		
	期限付採用	81名		
	公務員	20名		



事務局だより

◎令和2年度はコロナ禍の中で出発しました。全国に緊急事態宣言が出され、学生の大学への立ち入りも、未だ制限されています。(7月31日現在)

事務局も、安全・安心の観点から閉じ、6月初旬から様子を見ながら、活動を始めています。

◎まほろば33号は、例年より2ヶ月遅れの8月30日に全会員向けに発送しましたのでご理解ください。

◎同窓会は皆様の会費で活動しています。会費の納入にご協力ください。

◎個人情報の保護には、万全を期しています。

編集後記

◎新型コロナウイルスの感染拡大で、各自が「新しい日常生活」を考えて日々を送るようになりました。梅雨明け前のキャンパスでは、雨に濡れた木々の緑に心が洗われます。生気に満ち、構内を歩き交う学生の皆さんの姿が見られず、草を求めて悠々と闊歩する鹿の群れを見ます。

◎1日も早く学生諸君がキャンパスに戻れるように、コロナ感染症の収束を願うばかりです。そんな中、皆様のお手元に会報「まほろば」をやっとお届け出来ることになりました。

◎今号には、「一般社団法人奈良教育大学同窓会竹柏会」の会則を掲載しました。ご支援・ご協力をお願いいたします。

原稿募集

- 会報34号の原稿を募集します。
- 500字程度で、顔写真等もお願いします。
- 送付先：同窓会事務局広報委員会 宛



一般社団法人奈良教育大学同窓会竹柏会会報「まほろば」 第33号 発行：令和2年8月30日

発行所 一般社団法人奈良教育大学同窓会竹柏会事務局 〒630-8301 奈良市高畑町 奈良教育大学内
☎0742-21-6101 Fax0742-21-6102 郵便振替番号00900-2-9400

編集・発行 一般社団法人奈良教育大学同窓会竹柏会

印刷所 関西印刷株式会社 奈良市南半田中町19・20番地

—題字 故 川淵勝男元会長—